

川の生きものを調べよう

水生生物による水質判定

I きれいな水

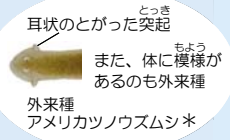


×5

実物大

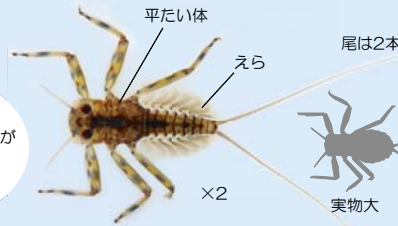
ナミウズムシ

石の表面にはりついていて、伸び縮みする
中・下流部には外来種がいることがある



×2

外来種
アメリカツノウズムシ



ヒラタカゲロウ類

流れの速い石の表面にはりついている



カワゲラ類

体ががんじょうな感じがする
石の下やすき間にいる



アミカ類

腹面に吸盤があり、急流の岩や石にはりついている



サワガニ

体色は赤色、茶色、青白色のものがあるが、
同じ種類である



ヘビトンボ

流れの速い石の下にひそんでいて、
えものおそう



×3



×3

ナガレトビケラ類

流れの速いところにいる



ヤマトビケラ類

流れの少しゆるやかなところの石面に多い



ブコ類

急流の岩や石に吸盤ではりついている
集団をつくり、石が黒く見えることもある



ヨコエビ類

上流の石の下や水中に
たまった落葉の間にいる



×2

最も後ろの足が、
その前の足より短い
外来種
フロリダマシヨコエビ

×2

最も後ろの足が、
その前の足より長い

×2

第2触角が
第1触角の1/2以上

×2

第2触角が
第1触角の1/2



タニガワカゲロウ類

体はヒラタカゲロウ類に似ている
流れの速いところにいる



チラカゲロウ

流れのやや速いところにいる



ヒゲナガカワトビケラ類

流れの速い石の間に網をはってえさを集める
体色は茶～黒色

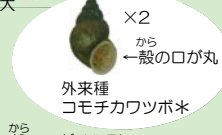
II ややきれいな水



カワニナ類

流れの少しゆるやかなところにいる
外来種のコモチカツツボキは数mmと小型

×0.5



×2

から

一般の口が丸

外来種
コモチカツツボキ

×2

から

一般の口がひし形



コオニヤンマ

流れが少しゆるやかなところにいる



ヒラタドROMシ類

石の表面にはりついている



ニンギョウトビケラ類

流れが少しゆるやかなところの
石面にいる



×3

コガタシマトビケラ類

頭部の前縁に浅い凹みがある



×10



ゲンジボタル

流れが少しゆるやかなところにいる
カワニナをえさとする



×2

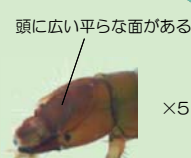
ぜんきょう

もよう

前胸の模様異なる

ゲンジボタル

ヘイケボタル



×5

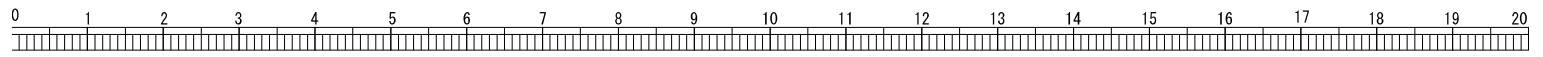
オオシマトビケラ

流れが少し速いところにいる



×2.5

*のついている生物はよく似ていますが指標種(水質判定に使う水生生物)ではありません。



Ⅲ きたない水



ミズムシ

落葉のあるところではきれいな水にもいる



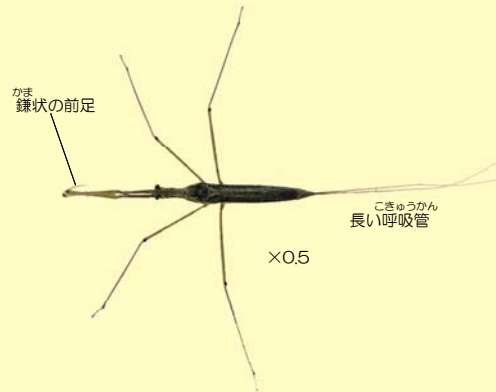
シマイシビル

背中に縦縞模様があるの伸びたり縮んだりする尾の先に吸盤がある



タニシ類

流れのゆるやかなところにいる



ミズカマキリ

川では川岸の草の中などにいる

Ⅳ とてもきたない水



エラミミズ

尾部にえらがある流れのゆるやかなところにいる



サカマキガイ

多くの巻貝と違い、左巻き流れのゆるやかなところにいる



アメリカザリガニ

北アメリカ原産の外来種流れのゆるやかなところにいる



ユスリカ類

腹部に2対(4本)または1対(2本)のひも状のえらがある。瀬でみられる赤いユスリカはセスジユスリカやハイロユスリカが多い



チョウバエ類

尾部、腹部背面にかたい部分(キチン板)がある

汽水域(海水が混じっているところ)

Ⅱ ややきれいな水



イシマキガイ

石や護岸にはりついている淡水域にもいることもある

ヤマトシジミ

砂や泥の中にいる淡水域にはマジミ*や外来種のタイワンシジミ*がいる

Ⅲ きたない水



イソコツブムシ類

石の下にいるさわると丸くなる

ニホンドロソコエビ

泥の上や中にいる河川の上・中流部にも淡水性のヨコエビ類がいる

*のついている生物はよく似ていますが指標種(水質判定に使う水生生物)ではありません。